

金山町立金山中学校 第12号

学校だより

令和6年2月1日発行
発行責任者:金山中学校長

校内スキー教室 ～金山町の雪を満喫～

1月26日(金)、フェアリーランドかねやまスキー場で校内スキー教室を行いました。暖冬による雪不足のため開催が危ぶまれましたが、前々日からの降雪により、何とか実施することが叶いました。午前中は上級・中級・初級に分かれてスキー学校の指導員から技術指導をしていただき、生徒個々の能力に応じた丁寧な指導の下、技能のレベルアップを図りました。今シーズン初滑りの生徒も多くいましたが、少しずつ感覚を取り戻すことができ、軽快な滑りを見せていました。午後はフリー滑走とし、新雪での滑走に挑戦したり、午前中に学んだ技能を復習して滑ったりと、生徒たちは地元の自然を十分に満喫しながら滑走を楽しむ姿が見られました。



令和6年度新入生0名 ～2・3年生だけとなる金山中～

本校では、例年1月末に新入生説明会を実施し、次年度に向けた準備を進めておりますが、今年度は町内両小学校に6年生が在籍しておらず、令和6年度は残念ながら入学式が開催できない状況です。金山中学校となり16年目を迎えますが、新入生ゼロという事態を迎えています。

学級数が2クラスとなるのに伴い、職員数も減となってしまいます。令和6年度から8年度までは、生徒数も職員数も少なくコンパクトな学校となりますが、少人数を弱みではなく強みに変え、充実した教育活動が展開されるよう次年度の教育課程を編成してまいります。保護者の皆様、地域の皆様にご協力いただく場面も多々ありますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

金山中学校 全校生徒予定数（発行日現在）

令6	男子	女子	計	令7	男子	女子	計	令8	男子	女子	計	令9	男子	女子	計
1年	0	0	0	1年	4	4	8	1年	2	0	2	1年	1	8	9
2年	3	3	6	2年	0	0	0	2年	4	4	8	2年	2	0	2
3年	6	3	9	3年	3	3	6	3年	0	0	0	3年	4	4	8
計	9	6	15	計	7	7	14	計	6	4	10	計	7	12	19

春の訪れを感じる「節分」の意義を知る

2月になりました。2月は1年のなかでも短い月ですから、あっという間に逃げてしまうとも言われます。2月4日は「春が立つ」と書いて春の季節の始まりとされる「立春」と言われる日です。昔の暦では、この頃が1年の始まりであるとされてきました。江戸時代頃からは、毎年2月4日の立春の前日を「節分」と言うようになったそうです。

節分の行事は、「鬼は外、福は内」と大きな声で炒り大豆（福豆）を撒き、年の数より1つ多い数（もしくは年の数）だけ豆を食べます。また、邪気除けとして、柊（ひいらぎいわし）という柊の小枝と焼いた鯛の頭を門口に挿します。季節の変わり目は邪気が入りやすいと言われ、それを除けるために豆撒きをしたり飾りを付けたりしたのです。最近では、幸運を招く方角を向いて黙って太巻きを丸かじりする風習も人気となっています。こうした風習は地域によっても違いがあるようです。

長く厳しい冬が一段落して、春の訪れを待ち望む歌が多くあります。「春よ来い」「春が来た」「春（春のうららの墨田川）」などです。長い冬の後にくる春の穏やかな季節は、冬の暮らしを過ごしている人たちにとっては昔から変わらない大きな喜びであり、その前の節分は春を迎えるために、昔からある大切な行事と言えます。

皆さんは春をどのような気持ちで迎えますか。皆さんから追い出した鬼はどんな鬼でしょうか。「わがまま鬼」「忘れ物鬼」「いじわる鬼」などいろいろあるかもしれません。自分ではわがままをしない、忘れ物をしない、いじわるをしないと思っても、なかなかできないこともありますが、こうした心の中に住む目に見えない悪い鬼は、「鬼は外」で追い出し、新鮮な気持ちで春を迎えたいものです。

